研究へのご協力のお願い

―情報の利用について―

PROTECT-KD Study

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得る必要はありませんが、研究の目的や方法を公開し、ご協力いただけない場合は申し出ていただく機会を設けることが必要とされています。

この研究を正しく行うため、患者さんの情報を使用させていただきますが、個人情報の保護については十分配慮いたします。

1. 研究課題名

治療開始時に冠動脈拡張を認める川崎病症例の治療戦略と転帰に関する多施設共同後方視的観察研究（PROTECT-KD Study）

2. 研究の目的

川崎病は主に乳幼児がかかる病気で、発熱や発疹、目の充血などの症状が出ます。治療には免疫グロブリンとアスピリンを使用しますが、治療を始める前からすでに心臓の血管（冠動脈）に拡張がみられる患者さんに対して、どのような治療が最も良いのかについては、まだはっきりとわかっていません。
この研究では、治療開始前に冠動脈拡張があった患者さんの治療方法と、その後の経過を詳しく調べることで、より良い治療法を見つけることを目指しています。

3. 研究の方法

対象となる患者さん

2021 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までの間に、当院および共同研究施設において川崎病と診断され、治療を受けた患者さん

使用する情報

カルテに記載されている以下の情報を使用させていただきます：

- 年齢、性別、診断日

- 川崎病の症状
- 心臓の超音波検査の結果
- 治療内容（使用したお薬など）
- 治療後の経過

研究期間

病院長許可日～2026 年 12 月 31 日

4. 個人情報の取り扱い

この研究に使用する情報は、お名前や住所など、患者さん個人を特定できる情報を削除し、代わりに新しく符号をつけて管理します（匿名化）。また、研究成果を学会や学術雑誌などで発表する場合も、患者さんを特定できる情報は一切使用いたしません。

5. 研究に情報を使ってほしくない場合

患者さんやご家族の中で、ご自身の情報を研究目的に使用してほしくないとお考えの方がいらっしゃいましたら、遠慮なくお申し出ください。その場合でも、患者さんが不利益を受けることは一切ございません。
なお、すでに研究結果が論文などで公表されている場合や、他の施設にデータが送付され研究に使用されている場合には、情報を削除できないことがありますので、ご了承ください。

6. 研究組織

研究代表者：
日本赤十字社福岡赤十字病院 小児科・臨床研究センター
古野 憲司

共同研究施設：
日本赤十字社山口赤十字病院、国立病院機構小倉医療センター、地域医療機能推進機構九州病院、国立病院機構福岡東医療センター、福岡市立こども病院、九州大学病院、国家公務員共済組合連合会浜の町病院、国立病院機構九州医療センター、日本赤十字社唐津赤十字病院、大分県立病院

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問や、情報の使用を希望されない場合は、以下までご連絡ください。

日本赤十字社福岡赤十字病院
小児科・臨床研究センター　古野 憲司
〒815-8555
福岡県福岡市南区大楠 3-1-1
Tel：0570-03-1211

受付時間：平日 9:00～17:00

大分県立病院　お問い合わせ先

小児科　原　卓也

〒870-8511

大分県大分市豊饒二丁目 8 番 1 号

Tel：097-546-7111(代表)

受付時間：平日 9:00～17:00